

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		昭和46年度～	
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	02 自然と共生するまちづくり
	小項目	施策	02 環境美化
事務事業名		02	環境衛生事業
		根拠法令・規程等	備前市環境衛生指導委員規則
		担当課(室)	環境課
		職・氏名	衛生係長・古松健二
		電話	64-1821
		このシート作成に要した時間	3.0 時間

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	清潔で快適な暮らしを求める市民
目的(何のために)	市民のボランティア活動の協力を得て、快適な生活環境の保持と環境美化の促進を図り、もって清潔で美しいまちづくりに資する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	家庭ごみの排出マナーの向上、不法投棄のないまちづくり、防疫による清潔なまちづくり

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
環境衛生指導委員会事業	環境衛生に関する様々な活動を円滑に行うため、環境衛生指導委員会を設置・運営する		
環境衛生事業	ごみの排出指導や犬猫等死体収容、災害時の防疫作業(消毒)など、環境衛生に関する様々な業務を行う		
不法投棄処分事業	不法投棄防止のため啓発活動や監視を行う 不法投棄があった場合は、適切な処理を行った後、必要に応じてごみの処分を行う		
個人墓地経営許可事業	個人墓地を設置しようとする者に対し、適正な墓地整備を目的として、設置許可や指導を行う		
諸島地区汲取り支援事業	諸島地区でし尿汲取りを行うとき、バキューム車を運搬するための船代を助成する		
諸島地区葬祭事業費補助金	諸島地区に住む人が亡くなったとき、遺族に対し、葬祭のため本土に移動する際の船代を助成する		
県環境衛生協会東備支部負担金	備前市環境衛生指導委員会の上部組織である県環境衛生協会東備支部への負担金		
日生地区清掃支援事業	日生地域で地区清掃を行うとき、重機の借上料を支援する		
東備食品衛生協会助成金	地域における食品衛生指導委員の活動を助成するため、関係団体へ負担金を支払う		
苦情処理事務	環境衛生に関する様々な苦情・要望に対し、現場確認や指導など必要な対応を行う		

...		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費	千円	4,800	5,495	5,461
	必要人員人件費	千円	1.01人	8,795	0.86人
事業費事業費計			13,595	12,167	11,555
財源	国	千円			
	県	千円			
	支	千円			
	出	千円			
受	益	千円			
	者	千円			
負	担	千円			
	金	千円			
一	般	千円			
	財	千円			
受		%	13,595	12,167	11,555
益					
者					
負					
担					
比					
率					

...		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	環境衛生指導委員数	説明	委嘱している環境衛生指導委員数		
	結果指標量	事業	200	262	259
	対前年比	%	-	131.0%	98.9%
	活動コスト	円	2,814,500	3,702,100	3,708,900
	単位当たりコスト	円	14,073	14,130	14,320

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
		目標値(A)	2000	1700	1600
防疫用薬剤配布数	実績値(B)	1800	1700	1300	到達目標値
	達成率(B/A)	90.00%	100.00%	81.25%	1200
	成果指標設定の考え方・式や説明				
配布数(下水道が接続されていない地域を中心に、希望により防疫用薬剤を配布することにより衛生面の向上を促す。)					

事務事業の評価		妥当性評価 <A-E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	B
	市民ニーズ	
効率性の評価	コスト	C
	手段	
有効性の評価	目的達成度	B
	市民参画度	

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	環境衛生指導委員会、市民ボランティアの協力を得て、更なる環境衛生思想の普及を図る。不法投棄禁止の啓発					

総合評価	
環境衛生指導委員の定数増により、更なる環境衛生思想の普及を図った。防疫用薬剤については、本来の使用目的以外で使用している人がいるため、使用方法の指導を行えば、配布数は減になりコスト削減につながる。防疫用機械については、使用後の効果は1ヶ月ほどしかなく、成虫は殺せても卵までは殺せない。また油剤を使用するため、危険な機械である。貸出数は、年々減ってきているが、貸出には十分注意を図る必要がある。	評価区分 <A-E> B

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	環境衛生指導委員会、市民ボランティアの協力を得て、更なる環境衛生思想の普及を図る。防疫用薬剤の使用目的の指導を行い、配布数を減らしコスト削減につなげる。					

事業の目的、対象内容を考えてながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項
事業の目的やその数値目標を定める成果指標

